



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1822号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢野 敏夫 幹事 西本 和夫



広重版画より 三島 朝霧

第1884回例会

2011.5.12雨

司 会

佐々木雅浩君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 石井良衛君

会長挨拶

会長 矢野敏夫君

皆様こんばんは。久しぶりの例会のような気がします
が、皆さんゴールデンウィークはいかがでしたか。

東日本大震災の被災地ではそれどころではなかった
かと思いますが、この連休を利用して全国からたくさん
のボランティアが被災地に集まり、復旧作業にあたった
ことがニュースで報じられていました。私たちも自粛ム
ードで、例年のように気分転換もなかなかできないの
ではと思っていましたが、県内の主な観光地や商業施設の
人手は自粛ムードの和らぎもあって、遠出を控えた行楽
客等が増えて、前年並みかそれ以上になる施設が多かつ
たと聞いて、何かホッとしたような気もしました。

5月に入り私達の任期もあとふた月になりました。今
期未だ未消化のプログラムを残している委員会はラス
トスパートの時期になりますので、積極的に取り組んで
欲しいと思います。

去年と今年のガバナー月信にいくつかのクラブの周
年記念例会が紹介されており、その中に記念事業が記載
されていました。これには市庁舎移転に伴う時計塔の移
設、記念館への可搬式ポンプ(消火設備)の寄贈、米山記
念奨学会及び米山記念館への寄付金贈呈、台湾に河津桜
を植樹、駅前広場への植栽の寄贈や会員による総合無料
相談会、専門職による講演会等がありました。当クラブ
へも清水町役場から、当クラブの20周年記念事業で寄贈
した時計塔が壊れてしまったので、できれば取り替えて
くれとの連絡がきております。

前回の会長挨拶でも述べましたが、来年は当クラブ
が40周年を迎えます。この周年事業は会員全員の積極
的参加と協力があってこそ成しえるものですので、そ
の際にはご協力をよろしくお願いいたします。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 石川直樹さん
(関本(文)君・矢岸君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	42/51	82.35%	49/51	96.08%
今回	39/47	82.98%	会員総数	52名

欠席者 亥角君、窪田君、鈴木(正二)君、諏訪部(照)君、
諏訪部(敏)君、松坂君、室伏君、渡辺君

幹事報告

幹事 西本和夫君

- ①石川直樹君さんの入会諾否・推薦者が間違っていましたので訂正をお願いします。正しくは関本文彦さん、矢岸克行さんです。申し訳ありません。☒
- ②2010-2011年度R I 会長特別賞の受賞クラブに決まりました。☒
- ③5月19日にパスト会長会議を開催します。☒
- ④東日本大震災に伴う今夏の電力不足が不安視される中、ノーネクタイなどの「クールビズ」を推奨します。☒

2010～2011年度
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

地域を育み、大陸をつなぐ

おめでとう

会員誕生日 矢野君、花房君、原君
奥様誕生日 黒田君
結婚記念日 石井(彰)君、原君、千葉君

スマイルボックス

- ◆関本(文)君、矢岸様、この度のヨーロッパツアーには、大変お世話になりありがとうございました。
- ◆姉妹クラブ委員会、第25回交換中学生の報告書ができました。
- ◆瀬川君、なんとなく。早退します。
- ◆栗原君、同じ理由で早退します。



理事会

承認事項

- ①米山寛さんの病氣療養に伴い次年度会長の選考をパ
スト会長会議に委託☑

5月の日程☑

- ①5月12日☑親睦夜間例会 ☑
新旧理事・役員・委員長引き継ぎ会 ☑
- ②5月19日☑通常例会
例会日・例会場変更 三島プラザホテル☑
石川直樹君の入会式☑
卓話 橋本裕子 君☑
- ③5月26日☑也田ガバナー補佐訪問☑
卓話 矢岸克行 君☑

ROTARY NEWS

R1会長からのメッセージ

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、
私の妻のジュディーは長年にわたって幼稚園の先生をしていて、彼女は「show and tell (見せてお話)」のときのことについて、よく話してくれました。「show and tell」の時間には、園児たちはそれぞれペットとかおもちゃといった自分が大好きなものを幼稚園に持ってきて、そのことについて他の子どもたちに話します。クラスメートが自慢するものを知ると、いつも子どもたちが驚嘆する気持ちがうかがえました。

他のロータリークラブが実施した素晴らしい奉仕プロジェクトを目にしたとき、ロータリアンたちも、同じような驚嘆の気持ちを分かち合います。事実、3万3,000以上もあるロータリークラブが実行した数多くの奉仕プロジェクトには、他の追従を許さないようなものがとてもたくさんあります。それらの多くはそのプロジェクトを実施したクラブ以外には知られていなかったり、認識されていませんが、こういったロータリープロジェクトはすべて、世の中をより良くするものであることは明らかです。それぞれのクラブが、自分たちの活動を世間に訴えることができる大々的な「show and tell」のイベントを開催できないのは残念なことです。私たちは、数え切れない奉仕プロジェクトに関するニュースを他のクラブと共有できないほど大きく成長しました。

しかしながら、年次大会は多くのクラブや地区、それに多地区合同の組織がそれぞれのプロジェクトを効果的な方法で展示する機会を提供しています。そして、今月ニューオーリンズで開催される国際ロータリーの年次大会では、「友愛の家」に展示される数多くの卓越したプロジェクトが呼び物の一つになるでしょう。ニューオーリンズでの国際大会は素晴らしいロータリーのイベントになるでしょう。

この国際大会は、私にも個人的な「show and tell」の機会を与えてくれます。私は国際大会会場であるコンベンションセンターの近くを流れるミシシッピー川にかかる巨大な道路橋の橋脚をお見せすることができます。それは、私が50年前、ロータリーの奨学生としてケープタウン大学に向かう際、ライクス・ライン社の貨物船に乗って通り抜けた橋そのものなのです。「これが生涯続く私のロータリーの旅の始点です」と皆さんにお伝えするのはとても幸せです。

レイ・クリングスミス

(週報担当：柳田英雄)